

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こすもす		
○保護者評価実施期間	2025年12月1日		～ 2026年1月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	児発 19 放デイ 22	(回答者数) 児発 13 放デイ 17
○従業者評価実施期間	2025年12月1日		～ 2026年1月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	2026年2月1日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者の方との情報共有や相談に対して、助言を行っている。	保護者との密な情報共有を行い、日々の様子や課題を共有するとともに、子育てや発達に関する相談に対して適切な助言を行っている。	保護者の方との信頼関係を大切にし、日々の療育内容や子どもの成長の様子を丁寧に共有していく。また、家庭での困りごとや子育ての不安に対して、専門的な視点から具体的な助言やサポートを行い、家庭と事業所が一体となって子どもの成長に繋げていく。
2	関係機関と連携し、統一した支援を実施している。	子どもの日々の様子を丁寧に観察するとともに、保護者からの聞き取りを行い、家庭での状況や課題を把握している。得られた情報については、必要に応じて学校や医療機関、相談支援専門員等の関係機関と共有し、連携を図りながら一貫した支援を行っている。	日々の療育場面での子どもの様子の観察に加え、保護者からの聞き取りを通して家庭での状況や困りごとを把握している。その情報を基に、学校や関係機関と積極的に情報共有を行い、支援方針の統一と切れ目のない支援体制の構築に努めていく。
3	運営規定、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明をしている。	契約時にわかりやすいように説明を行っている。また、施設内に掲示を行っている。	更に理解して頂けるように通信でも案内を行っている。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者同士の交流やきょうだい支援の実施に至っていない。	1日の中で、児童発達支援・放課後等デイサービスを行っている為、時間の確保が難しい。	保護者の方やきょうだいが参加できる機会を検討していく。
2	研修開催がやペアレントトレーニングの実施に至っていない。	ペアレントトレーニングの体制が整っていません。提供することが難しい。	保護者のニーズを整理し、研修開催や外部講師に依頼も検討していく。
3	送迎利用が限定的になっている。	公用車の台数が少なく、方面が限定的になっている。また、多機能事業所の為、限られた時間での送迎業務が難しい。	保護者にアンケートを実施し、ニーズに合わせた対応を検討していく。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 こすもす

公表日 2026年2月24日

利用児童数 19

回収数 13

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	92%	8%	0%	0%		今後も引き続き実施していく。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	100%	0%	0%	0%		今後も引き続き実施していく。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	100%	0%	0%	0%		今後も引き続き実施していく。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	100%	0%	0%	0%		今後も引き続き実施していく。
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	100%	0%	0%	0%		今後も引き続き実施していく。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	100%	0%	0%	0%		今後も引き続き実施していく。
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	92%	8%	0%	0%	モニタリングが少なかった。	引き続き、面談時に丁寧にモニタリングを行い、支援計画を作成していく。
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	92%	8%	0%	0%	モニタリングが少なかった。	引き続き、面談時に丁寧にモニタリングを行い、支援計画を作成していく。
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	92%	8%	0%	0%	モニタリングが少なかった。	引継ぎの時により丁寧な説明を行っていく。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	92%	8%	0%	0%		今後も引き続き実施していく。
保 護 者 へ の 説 明 等	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	85%	8%	0%	8%		今後も引き続き実施していく。
	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	100%	0%	0%	0%		今後も引き続き実施していく。
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	92%	0%	8%	0%	個別の面談の時間が少なかった。	面談時により丁寧な説明を行っていく。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	54%	0%	15%	31%		今後も引き続き実施していく。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	100%	0%	0%	0%		今後も引き続き実施していく。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	92%	8%	0%	0%		今後も引き続き実施していく。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	100%	0%	0%	0%		今後も引き続き実施していく。
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	31%	15%	15%	38%		今後も引き続き実施していく。
	19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	92%	0%	0%	8%		今後も引き続き実施していく。
	20 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	100%	0%	0%	0%		今後も引き続き実施していく。

	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	92%	0%	0%	8%		今後も引き続き実施していく。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	92%	8%	0%	0%		今後も引き続き実施していく。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	100%	0%	0%	0%		今後も引き続き実施していく。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	85%	0%	0%	15%		今後も引き続き実施していく。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	92%	8%	0%	0%		今後も引き続き実施していく。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	92%	0%	0%	8%	今まで事故が起こったことがないためわからない。	引き続き、丁寧な説明や連絡を行っていく。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	92%	8%	0%	0%		今後も引き続き実施していく。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	85%	15%	0%	0%		今後も引き続き実施していく。
	29	事業所の支援に満足していますか。	100%	0%	0%	0%		今後も引き続き実施していく。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	こすもす		公表日 2026年 2月 24日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		人数により使用する部屋やスペースを工夫している。	引き続き実施し、必要であれば改善を行う。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		基準配置に加え、加配職員を配置している。	引き続き実施し、必要であれば改善を行う。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		室内外バリアフリー、車椅子利用児に対応できるように工夫している。	引き続き実施し、必要であれば改善を行う。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		毎日の清掃、利用児に合わせた環境を工夫している。	月に1回、重点的に清掃行っていきたい。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		利用児の様子に応じて、個別対応を行っている。	状況によっては、個別対応が出来ない時がある。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		固定化ならないように相談し、見直しを行っている。また、振り返りの時間を作り、質の向上へと繋げている。	事務作業の時間の確保が難しい。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		個別面談で聞き取りを行っている。	引き続き実施し、必要であれば改善を行う。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		個別面談や月に1回ミーティングを行っている。	引き続き実施し、必要であれば改善を行う。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	法人内で情報共有を行っている。	第三者評価の実施を検討していく。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		内外部研修に積極的に参加している。	引き続き実施し、必要であれば改善を行う。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		ホームページで公表している。	引き続き実施し、必要であれば改善を行う。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		こどもや保護者のニーズに沿いながら、職員の分析し、作成している。	引き続き実施し、必要であれば改善を行う。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		日々の情報共有を行っている。	引き続き実施し、必要であれば改善を行う。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		職員間で情報共有を行い、作成している。	引き続き実施し、必要であれば改善を行う。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		外部の検査結果を参考にしたり、日々の行動観察を分析したりして、アセスメントを行っている。	引き続き実施し、必要であれば改善を行う。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		子どもの様子に応じて、ねらいや支援内容を工夫している。	引き続き実施し、必要であれば改善を行う。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		重複しないように話し合い、工夫している。	引き続き実施し、必要であれば改善を行う。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		相談して工夫している。	引き続き実施し、必要であれば改善を行う。

関係機関や保護者との連携	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		子どもの様子、保護者の意向に沿いながら作成している。	引き続き実施し、必要であれば改善を行う。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		支援前に、情報共有を行っている。	引き続き実施し、必要であれば改善を行う。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		改善点を話し合い、改善に努めている。	引き続き実施し、必要であれば改善を行う。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		利用後の記録、様子に応じて検討・改善を行っている。	引き続き実施し、必要であれば改善を行う。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		職員間で話し合い、見直しを行っている。	引き続き実施し、必要であれば改善を行う。
	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		積極的に参加している。	引き続き実施し、必要であれば改善を行う。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		保護者の同意を得て、情報共有を行っている。	引き続き実施し、必要であれば改善を行う。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		引き続き、情報共有を行っている。	引き続き実施し、必要であれば改善を行う。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		担当者会議を行い、情報共有を行っている。	引き続き実施し、必要であれば改善を行う。
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)				
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。		○	保護者を通して、情報共有を行っている。	必要に応じて連携を行っていく。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	○		月に1回交流の機会がある。	固定化ならないように検討していく。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		面談や引き渡しの時に行っている。	引き続き実施し、必要であれば改善を行う。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		○	研修案内や助言を行っている。	家族支援が充実できている内容を検討していく。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時に説明している。	引き続き実施し、必要であれば改善を行う。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		子どもや保護者の意向を確認する。	引き続き実施し、必要であれば改善を行う。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		面談時に実施している。	引き続き実施し、必要であれば改善を行う。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		定期的に面談を行っている。	引き続き実施し、必要であれば改善を行う。

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○	利用児だけではなく、家族やきょうだいに対しての情報共有を行っている。	保護者会きょうだい支援を検討していく。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		相談体制を整えている。	引き続き実施し、必要であれば改善を行う。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○		月に1度機関誌を発行している。	引き続き実施し、必要であれば改善を行う。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		気を付けて業務を行っている。	引き続き実施し、必要であれば改善を行う。
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		特性に応じて、視覚提示を使用している。	引き続き実施し、必要であれば改善を行う。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		地域交流を行っている。	回数を増やしていく。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		策定し、周知している。	引き続き実施し、必要であれば改善を行う。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		月に1回避難訓練を実施している。	引き続き実施し、必要であれば改善を行う。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○		事前に確認、対策を行っている。	引き続き実施し、必要であれば改善を行う。
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		検査結果に基づいて保護者と確認を行っている。	引き続き実施し、必要であれば改善を行う。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全計画に基づいて実施している。	引き続き実施し、必要であれば改善を行う。
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		周知している。	引き続き実施し、必要であれば改善を行う。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		情報共有し、対策を実施している。	引き続き実施し、必要であれば改善を行う。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		研修参加し、情報共有を行っている。	引き続き実施し、必要であれば改善を行う。
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		保護者に説明を行い、記載している。	引き続き実施し、必要であれば改善を行う。	

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 こそすす

公表日 2026年2月24日

利用児童数

22

回収数

17

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	1	100%	0%	0%	0%		・今後も引き続き実施していく。
	2	94%	6%	0%	0%		・今後も引き続き実施していく。
	3	100%	0%	0%	0%		・今後も引き続き実施していく。
	4	100%	0%	0%	0%		・今後も引き続き実施していく。
適切な 支援の 提供	5	94%	6%	0%	0%	・子どもが参加できるプログラムを丁寧に考えた上で支援して下さってます。	・個別の特性に合わせて引き続き、実施していく。
	6	94%	6%	0%	0%		・今後も引き続き実施していく。
	7	88%	12%	0%	0%	・アセスメントで伝わっているかな？と少し不安に思ったことはあります。	・更に丁寧なアセスメントを実施していく。
	8	94%	6%	0%	0%		・今後も引き続き実施していく。
	9	100%	0%	0%	0%		・今後も引き続き実施していく。
	10	94%	6%	0%	0%	・1週間の5日間が同じ活動内容のことがある。 ・いつも工夫されていて楽しみです。子どもに様々な経験をさせられて嬉しい。	・活動内容は、個別に合わせてスモールステップを意識して実施している。 ・様々な経験ができるように今後も検討していく。
	11	35%	12%	24%	29%	・事業所内で、他児と交流できているので、満足しています。	・近隣の社会資源の利用を検討していく。
保護者 への 説明等	12	100%	0%	0%	0%		・今後も引き続き実施していく。
	13	94%	6%	0%	0%		・今後も引き続き実施していく。
	14	24%	24%	12%	41%		・今後も引き続き実施していく。
	15	94%	6%	0%	0%		・今後も引き続き実施していく。
	16	76%	24%	0%	0%	・その日の様子は丁寧に知らせてくれてありがたいです。	・引き続き、丁寧に実施していく。
	17	94%	6%	0%	0%		・今後も引き続き実施していく。
	18	12%	18%	24%	47%		・今後も引き続き実施していく。
19	88%	6%	0%	6%		・今後も引き続き実施していく。	

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	94%	6%	0%	0%		・今後も引き続き実施していく。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	88%	12%	0%	0%		・今後も引き続き実施していく。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	100%	0%	0%	0%		・今後も引き続き実施していく。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	76%	6%	0%	18%		・今後も引き続き実施していく。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	88%	6%	0%	6%		・今後も引き続き実施していく。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	88%	6%	0%	6%		・今後も引き続き実施していく。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	100%	0%	0%	0%		・今後も引き続き実施していく。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	82%	6%	0%	12%		・今後も引き続き実施していく。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	82%	6%	0%	12%		・今後も引き続き実施していく。
	29	事業所の支援に満足していますか。	94%	6%	0%	0%	<ul style="list-style-type: none"> ・ 土曜日の活動が毎月ではなくなったことを少し残念に感じています。友達と長時間過ごす貴重な体験が経験できる為、実施していただけたら嬉しく思います。 ・ 活動に対して支援の工夫がされている。 ・ 利用できてありがたいです。 ・ 制作いつもかわいくて楽しみです。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 体制が整い次第、検討していく。 ・ 引き続き、満足していただけるように実施していく。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		こすもす		公表日		2026年 2月 24日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		人数により使用する部屋やスペースを工夫している。	引き続き実施し、必要であれば改善を行う。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		基準配置に加え、加配職員を配置している。	引き続き実施し、必要であれば改善を行う。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		室内外バリアフリー、車椅子利用児に対応できるように工夫している。	引き続き実施し、必要であれば改善を行う。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		毎日の清掃、利用児に合わせた環境を工夫している。	月に1回、重点的に清掃行っていきたい。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		利用児の様子に応じて、個別対応を行っている。	状況によっては、個別対応が出来ない時がある。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		固定化ならないように相談し、見直しを行っている。また、振り返りの時間を作り、質の向上へと繋げている。	事務作業の時間の確保が難しい。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		個別面談で聞き取りを行っている。	引き続き実施し、必要であれば改善を行う。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		個別面談や月に1回ミーティングを行っている。	引き続き実施し、必要であれば改善を行う。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○		法人内で情報共有を行っている。	第三者評価の実施を検討していく。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		内外研修に積極的に参加している。	引き続き実施し、必要であれば改善を行う。	
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		ホームページで公表している。	引き続き実施し、必要であれば改善を行う。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		こどもや保護者のニーズに沿いながら、職員の分析し、作成している。	引き続き実施し、必要であれば改善を行う。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		日々の情報共有を行っている。	引き続き実施し、必要であれば改善を行う。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		職員間で情報共有を行い、作成している。	引き続き実施し、必要であれば改善を行う。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		外部の検査結果を参考にしたり、日々の行動観察を分析したりして、アセスメントを行っている。	引き続き実施し、必要であれば改善を行う。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		子どもの様子に応じて、ねらいや支援内容を工夫している。	引き続き実施し、必要であれば改善を行う。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		重複しないように話し合い、工夫している。	引き続き実施し、必要であれば改善を行う。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		相談して工夫している。	引き続き実施し、必要であれば改善を行う。	

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		子どもの様子、保護者の意向に沿いながら作成している。	引き続き実施し、必要であれば改善を行う。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		支援前に、情報共有を行っている。	引き続き実施し、必要であれば改善を行う。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		改善点を話し合い、改善に努めている。	引き続き実施し、必要であれば改善を行う。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		利用後の記録、様子に応じて検討・改善を行っている。	引き続き実施し、必要であれば改善を行う。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		職員間で話し合い、見直しを行っている。	引き続き実施し、必要であれば改善を行う。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○		固定化ならないように工夫している。	引き続き実施し、必要であれば改善を行う。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		意思決定できる機会を作っている。	引き続き実施し、必要であれば改善を行う。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		積極的に参加している。	引き続き実施し、必要であれば改善を行う。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		保険センター、教育等と連携することが出来た。	引き続き実施し、必要であれば改善を行う。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		保護者を通して、情報共有を行っている。	引き続き実施し、必要であれば改善を行う。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		関係機関で情報共有を行っている。	引き続き実施し、必要であれば改善を行う。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		担当者会議に積極的に参加し、引き継ぎを行っている。	引き続き実施し、必要であれば改善を行う。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○	○	保護者を通して、情報共有を行っている。	必要に応じて連携していく。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		○	地域交流を行っている。	近隣の社会資源を使い、検討していく。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○		研修があると積極的参加している。	職員が参加できる研修を行ってほしい。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		面談や引き渡しの時に行っている。	引き続き実施し、必要であれば改善を行う。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		○	研修案内や助言を行っている。	家族支援が充実できいる内容を検討していく。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時に説明している。	引き続き実施し、必要であれば改善を行う。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		子どもや保護者の意向を確認する。	引き続き実施し、必要であれば改善を行う。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		面談時に実施している。	引き続き実施し、必要であれば改善を行う。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		定期的に面談を行っている。	引き続き実施し、必要であれば改善を行う。

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○	利用児だけではなく、家族やきょうだいに対しての情報共有を行っている。	保護者会きょうだい支援を検討していく。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。		○	相談体制を整えている。	引き続き実施し、必要であれば改善を行う。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。		○	月に1度機関誌を発行している。	引き続き実施し、必要であれば改善を行う。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。		○	気を付けて業務を行っている。	引き続き実施し、必要であれば改善を行う。
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。		○	特性に応じて、視覚提示を使用している。	引き続き実施し、必要であれば改善を行う。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○	地域交流を行っている。	回数を増やしていく。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。		○	策定し、周知している。	引き続き実施し、必要であれば改善を行う。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。		○	月に1回避難訓練を実施している。	引き続き実施し、必要であれば改善を行う。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。		○	事前に確認、対策を行っている。	引き続き実施し、必要であれば改善を行う。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		○	検査結果に基づいて保護者と確認を行っている。	引き続き実施し、必要であれば改善を行う。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。		○	安全計画に基づいて実施している。	引き続き実施し、必要であれば改善を行う。
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。		○	周知している。	引き続き実施し、必要であれば改善を行う。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。		○	情報共有し、対策を実施している。	引き続き実施し、必要であれば改善を行う。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。		○	研修参加し、情報共有を行っている。	引き続き実施し、必要であれば改善を行う。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。		○	保護者に説明を行い、記載している。	引き続き実施し、必要であれば改善を行う。	